



ドイツ銀行信託会社アメリカ、
ヤマハ株式会社の米預託証券（ADR）の預託銀行に任命される
— 日本企業の ADR 支援業務を強化 —

【2003年7月8日、東京/ロンドン】 ドイツ銀行 AG（本店：フランクフルト、取締役会会長兼経営執行委員会会長：ヨゼフ・アッカーマン）は、本日、同行米国信託会社であるドイツ銀行信託会社アメリカがヤマハ株式会社（ヤマハ）による米国預託証券（ADR、レベル1）の預託銀行に任命された旨を公表しました。

ヤマハは、楽器事業、AV・IT事業、リビング事業、電子機器・電子金属事業、レクリエーション事業及びその他の事業を行っており、その事業展開においても国内及び海外と幅広く活動を行っている企業です。

ヤマハの執行役員・広報部長戸部儀和氏は、「この度の ADR レベル1 プログラムの設定は、米国投資家の利便性を高めることになり、新たな投資家層の拡大とヤマハブランド知名度の向上につながることを期待しています」と述べています。

ドイツ銀行グローバル株式サービスの統括責任者を務めるアクバル・プーナワラは、「ヤマハ」はグローバルに通用するブランドを確立しています。今回、そうしたブランド力を背景に ADR のプログラムを設定することで、ヤマハ株式投資に対する米国の投資家の利便性がこれまで以上に高まるでしょう」と話しています。

ドイツ銀行 AG の完全子会社であるドイツ銀行信託会社アメリカは、これを契機に、日本にある信託子会社であるドイツ信託銀行株式会社やドイツ銀行東京支店のバックアップを受けて、日本企業が ADR を設定・発行する際の預託銀行業務サービスの紹介を推進していく計画です。

以上

<この件に関するお問い合わせ先>

広報部（日本）	(03) 5156-7704
アクバル・プーナワラ 預託証券	+1 212 602 1027
マイク・ヒューズ 預託証券	+44 20 7547 7995

ドイツ銀行グループは、総資産約 8,020 億ユーロを有し、7 万 900 人の従業員を擁する世界でも有数の金融機関として、世界 76 カ国で 1,300 万人を超える顧客の皆さまに幅広い金融サービスを提供しています。グローバルな金融機関として、幅広い顧客ニーズに適した金融ソリューションを提供する一方で、ドイツを拠点とする卓越した金融機関として企業価値の増大にも努めています。

当グループは、特に、企業金融、証券・投資銀行、トランザクション・バンキング、資産運用、プライベートウェルス マネージメントの分野で、世界でもトップクラスの金融機関としてその地位を確立しており、また、ドイツ国内及び欧州の主要国におけるプライベート・バンキングやビジネス・バンキングの分野でも確固とした事業基盤を確立しています。

ドイツ銀行の法人信託サービス (CTAS) は、預託証券 (ADR、GDR) の預託金融機関として主導的な地位を占めるだけでなく、グローバル・レジスタード・シェアに関連するサービス業務でも世界をリードしています。現在、世界 35 カ国の顧客企業を対象に 150 を超える管理プログラムを提供しています。また、ストラクチャードファイナンスに関わる支援サービスの分野でも世界で主導的地位を確立しています。グローバルなネットワークをフルに活用することで、社債管理、元利金支払代理人、預託機関、特別目的会社 (SPV) の運営管理など幅広い法人信託サービスを提供しています。対象となる金融商品は、債券 (CP、MTN を含む)、資産証券化 (ABS)、不動産証券化 (MBS)、債務担保証券 (CDO)、プロジェクト・ファイナンス、エスクロ取引、シンジケート・ローンなど広範囲にわたります。

本リリースは記録を目的として発行されたものです。リリースの内容はドイツ銀行 AG (ロンドン) が承認しています。

www.deutsche-bank.com (グローバル)、www.japan.db.com (日本)